

文 2.3



一九五三年五月二〇日
癸印刷

第36卷 第1号

史学・地理学・考古学

近世銀山の生産の形態と組織……………小 葉 田 淳 (1)
 — 院内銀山の研究 (I) —
 佐藤直方の学問論……………三 吉 希 (20)
 — 朱子学的思考の一形式 —
 三〜七世紀における中国の都市……………宮 川 尚 志 (35)
 福島県天王山遺跡の弥生式土器……………坪 井 清 足 (50)
 — 東日本弥生式文化の性格 —
 Landstände の形成と領邦国家の発展……………中 村 賢 二 郎 (64)
 殷代の奴隷制度と農業……………中 島 健 一 (76)
 — とくに呉、翦両氏の近著を中心として —

資料紹介

瀬戸内海総合研究会編：備中国新見庄史料……………楠 瀬 勝 (80)
 書評と紹介
 Ritter : Europa und die deutsche Frage……………岡 部 健 彦 (84)
 崎庸之：奈良仏教の成立と崩壊……………高 取 正 男 (88)
 若林喜三郎・山上青年団：山上村小史……………小 池 洋 一 (91)
 学界消息

東洋史研究会

京都大学文学部東洋史研究室

〒606 京都府三三七二八

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

て北西遊牧民の侵入が中国の都市の個々の盛衰に対しては
 ももちろん、都市の機能や城民生活の様相にもかなり影響を
 及ぼした。為政者の意思のままに千里をこえ異郷の城郭に
 收容され、または農村をすて安全な城壁内に流入した漢胡
 の人民はくりかえされる移動の後、地域を共にする城民と
 いう集団を形成した。本論では言及しえないが、建康や長
 安などの例から見て城民は何ら市民的自治はもたなかつた
 が、いわゆるおひさまとの民として田野の民にはない恩恵
 をうると同時に特別な負担をも有した。漢代の里という都
 市農村を通ずる集団が、後者では村とよばれたごとく、前
 者では坊とも俗称される様になつた。(洛陽伽藍記)坊とは
 治安維持の必要からきづいたかきを指す。292年、長安
 令に赴任した潘岳の西征賦(文選十)に当時の長安が衛里
 蕭条、邑居散逸、市場も倉庫も役所も貧弱で城の片隅に集
 り、それでも都中は雑踏し、垂夷の士女がひしめきあつて
 いる様をのべ、漢代の栄華と整齊を幻のごとく回想し、長
 安の没落は政治の失敗にあると断じ、自分は都市復興の才
 能はなく、ただ無欲の心を以て政にのぞみ罪を免れえればよ

ろしい、礼楽の如きは将来の賢者を待望するのみと結言し
 ている。彼の待望はけだし漢文化の伝統と胡族精神の貫入
 とを総合した隋唐の都城経営により三百年後にこたえられ
 たものであろう。

附記本稿、特に「二」は昭和二十三年度文部省科学研究費によ
 る研究の一部の発表である。

例会 予告

六月六日(土)午後一時

於 陳列館第二教室

中国先史時代の一問題

——アンダーソンの甘肅六期について——

藤 沢 長 治

初期庄園の経営

岸 俊 男 氏

ンベルクが述べているところは、不可分割、不可譲渡の公的権力なる新たな国家理念の形成に導いたローマ法の導入、火器の發明による戰術的变化、傭兵の使用、Ständeの間における利害の不一致と相互の反目嫉視等であつたが、それらはこの發展を解き明すに充分ではない。むしろリュトゲが指摘する如く、十四世紀中等より顯著となつた農業危機、農村の荒廢（Wüstung）の作用がより根底的な問題として注目されねばならないのではないだろうか。それによつて惹起された地代収入の著しい低下は小領主層を貧窮化し没落せしめ、同じく地代収入に依存するところ大きいとはいへ、なお非領主的収入源、即ち租税その他のRegaliaを持つランデスヘルをして他の領主層に相対的に優越せしめた事情が、ランデスヘル①のStändeに対する支配権の拡大に極めて有利な条件を与えたことが考えられる。しかしこの問題に関してはリュトゲの叙述自体が單なる示唆以上に出でるものではなく、従つて具体的な説明はなお今後の問題として残されているといわねばならないであらう。

① F. Lütge, Das 14/15. Jahrhundert in der Sozial- und Wirtschaftsgeschichte, Jahrb. f. Nationalök. u. Statistik, Bd. 162, S. 204ff.

執筆者紹介

- | | |
|-------|--------------|
| 小葉田 淳 | 京都大学教授 |
| 三吉 希 | 京都大学助手 |
| 宮川尚志 | 岡山大学助教 |
| 坪井清足 | 京都大学大学院学生 |
| 中村賢二郎 | 神戸大学助手 |
| 中島健一 | 早稲田大学助教 |
| 楠瀬 勝 | 京都大学大学院特別研究生 |
| 岡部健彦 | 奈良女子大学講師 |
| 高取正男 | 京都大学大学院特別研究生 |
| 小池洋一 | 洛北高校教諭 |

III 編集後記 III

三五巻の完結が少しく遅れたために、この号の発刊にも響いてきましたが、いま三六巻一号を送ります。既に次号の編集も終り、年末の大会までには三六巻を完結する予定で

す。史林の出版についてのいろいろな条件も次第に好転し、委員一同張り切つてゐるわけです。その意気込みは、しぜん史林の内容にも反映していつてゐることは、本号の豊富な内容をみていただければ分ると思ひます。

けれども、たゞ一つ残念なのは、史林の出版が不規則であつた頃に、会費の滞納が尨大な額に上つてしまつてゐたことです。さいきんこの滞納会費の回収は、どんどん進んでいますが、いま一そう会員の皆様の積極的な御協力を切にお願いしたいと思います。

それから、こんごさらに会員相互の連絡を緊密にしたいと考へ、会員消息欄を設けるこ

とにしました。入会、退会、転勤、動靜等々をその都度ぜひお知らせいたゞきたいと思ひます。また、学問の發展のために、他の諸学会との提携にも努力してゐます。そうしたなかで、史林と史学研究会の發展のために、会員の皆様のいろいろな御教示、御批判や、御協力をわれわれは切望してゐるわけです。

(門協)

御願ひ

史林及び史学研究会の直接の事務運営は、次のような分担で行つております。史林及び史学研究会に関する御批判や御希望を、なるべく多く寄せて下さる様に御願ひ致します。

- 編集主任 赤松、俊秀
- 編集委員 池田 誠 (東洋史)
- 同 石川栄吉 (地理学)
- 同 越智武臣 (西洋史)
- 同 門脇禎二 (日本史)

- 同 藤沢長治 (考古学)
- 庶務主任 佐伯 富
- 庶務委員 河地重造 (東洋史)
- 同 林巴奈夫 (考古学)
- 同 三吉 希 (日本史)
- 会計主任 藤岡謙二郎
- 会計委員 瀬原義生 (西洋史)
- 同 末尾至行 (地理学)

一九五三年五月一日 印刷
 一九五三年五月二〇日 発行
 定価 百円

史 林 (第三六巻、一号)

京都市左京区吉田本町
 京都大学文学部内

発行所 史 学 研 究 会
 振替大阪一四五五六番
 京都市下京区七条御所ノ内東町三九

印刷所 中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XXXVI, NO. 1 MAY. 1953

CONTENTS

Articles:

- The Form and System of Production of the
Silver Mines in the Tokugawa Era
..... *A. Kobata* (1)
- Sato Naokata and his Doctrine of Learning
..... *S. Miyoshi* (20)
- Chinese Cities down to the Seventh Century
..... *T. Miyagawa* (35)

Short Notices:

- Yayoi Potteries from the Sites of Tenno-zan,
Fukushima Prefecture..... *K. Tsuboi* (50)
- The Formation of *Landstände* and the Develop-
ment of *Territorialstaat* *K. Nakamura* (64)
- Slavery and Agriculture in the Yin Dynasty
..... *K. Nakajima* (76)
- Manorial Records of Niimi, Bitchu *M. Kusunose* (80)

Book Reviews & News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan